



## 平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社フェニックスバイオ 上場取引所 東  
 コード番号 6190 URL http://phoenixbio.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 藏本 健二  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部長 (氏名) 田村 康弘 TEL 082 (431) 0016  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	123	△63.4	△136	—	△138	—	△138	—
29年3月期第1四半期	337	—	50	—	4	—	3	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 △138百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △6百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	△48.03	—
29年3月期第1四半期	1.13	1.10

(注) 当社は、第1四半期の業績開示を平成29年3月期より行っているため、平成29年3月期第1四半期の増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	2,299	1,965	85.5
29年3月期	2,385	2,103	88.2

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 1,965百万円 29年3月期 2,103百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	500	△10.2	△85	—	△85	—	△87	—	△30.16
通期	1,480	20.5	263	85.4	262	96.8	232	80.9	80.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	2,888,300株	29年3月期	2,888,300株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	一株	29年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	2,888,300株	29年3月期1Q	2,888,300株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7
3. 補足情報	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境に改善が見られ、景気は緩やかな回復基調が続いていますが、米国の政権運営や地政学リスクの高まり等の懸念材料もあり、引き続き予断を許さない状況にあります。

当社グループの顧客が属する医薬品業界では、後発品との競争激化、製品開発の停滞、保険料の財政圧迫に起因する価格値下げ圧力等により製薬企業の収益性は低下する一方、膨大な開発費負担が生じる新薬開発への投資効率を高める目的でM&Aによる業界再編が依然活発な状況にあります。このような状況を背景に、製薬企業では新薬開発を迅速かつ効率的に実施するために、臨床試験等の開発業務を外部のCRO（開発業務受託機関）へ委託するケースが増えており、当社グループがターゲットとしている前臨床試験におきましても製薬企業の外部委託は拡大傾向にあります。

このような状況のもと、当社グループはマウスの肝臓の70%以上がヒトの肝細胞に置き換えられたヒト肝細胞キメラマウス（当社製品名：PXBマウス）を用いた受託試験サービスを提供しており、世界の大手製薬企業が研究開発拠点を置く米国を中心とした海外市場の拡大に注力してまいりました。

現在の主力である肝炎試験（薬効評価）は、ヒトの肝細胞にしか感染しないことから、PXBマウスは有益なツールとして認識されており、多くの製薬企業や研究機関から引き合いを頂いております。しかしながら、製薬企業の開発状況に左右されることから、海外売上高は前年同期を下回りました。また、多くの新薬が対象となることから当社グループの成長分野として位置付けるDMPK/Tox試験（薬物動態関連試験、安全性試験）では、PXBマウスの有用性を検証する場として、コンソーシアム（CMHL Consortium LLC）を設立しており、製薬企業等と共同研究を行っております。学会や論文で発表されるPXBマウス関連の研究が、製薬企業等の研究者に対するプロモーションとなり、試験領域が広範囲に渡るDMPK/Tox分野でのPXBマウスの認知を図っております。前連結会計年度に国内の学会で発表された研究成果が受注につながったことから国内売上高は堅調に推移したものの、海外売上高は低調な立ち上がりとなりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は123,448千円（前年同期比63.4%減）、営業損失は136,074千円（前年同期は営業利益50,473千円）、経常損失は138,034千円（前年同期は経常利益4,076千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は138,722千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益3,250千円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,843,841千円となり、前連結会計年度末に比べ82,755千円減少いたしました。これは主に有価証券が112,008千円増加した一方で、現金及び預金が189,780千円減少したことによるものです。また固定資産は455,487千円となり、前連結会計年度末に比べ3,258千円減少いたしました。これは主に減価償却費の計上により建物及び構築物が3,099千円減少したことによるものです。この結果、資産合計は2,299,328千円となり、前連結会計年度末に比べ86,013千円減少となりました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は209,243千円となり、前連結会計年度に比べ67,553千円増加いたしました。これは主にその他が51,604千円、買掛金が19,011千円、それぞれ増加したことによるものです。また固定負債は124,515千円となり、前連結会計年度末に比べ15,358千円減少いたしました。これは主に長期借入金が14,001千円減少したことによるものです。この結果、負債合計は333,758千円となり、前連結会計年度末に比べ52,195千円増加となりました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,965,570千円となり、前連結会計年度に比べ138,208千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が138,722千円減少したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月15日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,635,306	1,445,525
売掛金	120,612	45,257
有価証券	—	112,008
製品	45,191	70,698
仕掛品	35,718	49,229
原材料及び貯蔵品	62,764	88,612
繰延税金資産	4,729	4,721
その他	22,273	27,788
流動資産合計	1,926,596	1,843,841
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	122,285	119,186
車両運搬具(純額)	176	132
工具、器具及び備品(純額)	17,708	17,687
土地	296,000	296,000
リース資産(純額)	10,547	10,046
有形固定資産合計	446,718	443,052
無形固定資産	4,755	5,196
投資その他の資産	7,272	7,237
固定資産合計	458,745	455,487
資産合計	2,385,342	2,299,328
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	11,475	30,486
1年内返済予定の長期借入金	56,004	56,004
未払法人税等	6,727	3,346
繰延税金負債	—	319
その他	67,483	119,087
流動負債合計	141,690	209,243
固定負債		
長期借入金	104,493	90,492
資産除去債務	2,953	2,968
その他	32,427	31,054
固定負債合計	139,873	124,515
負債合計	281,563	333,758

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,229,186	2,229,186
資本剰余金	449,096	449,096
利益剰余金	△574,464	△713,187
株主資本合計	2,103,817	1,965,095
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	720
為替換算調整勘定	△38	△246
その他の包括利益累計額合計	△38	474
純資産合計	2,103,778	1,965,570
負債純資産合計	2,385,342	2,299,328

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	337,617	123,448
売上原価	100,244	71,128
売上総利益	237,373	52,320
販売費及び一般管理費	186,899	188,395
営業利益又は営業損失(△)	50,473	△136,074
営業外収益		
受取利息	1,093	9
その他	32	92
営業外収益合計	1,125	102
営業外費用		
支払利息	464	420
為替差損	47,058	1,641
営業外費用合計	47,522	2,061
経常利益又は経常損失(△)	4,076	△138,034
特別損失		
固定資産除却損	—	108
特別損失合計	—	108
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	4,076	△138,143
法人税、住民税及び事業税	826	579
法人税等合計	826	579
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,250	△138,722
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	3,250	△138,722

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,250	△138,722
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	720
為替換算調整勘定	△10,135	△207
その他の包括利益合計	△10,135	513
四半期包括利益	△6,885	△138,208
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,885	△138,208



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式報酬としての新株式発行)

当社は、平成29年6月28日開催の取締役会において、下記のとおり新株式の発行を行うことについて決議し、平成29年7月13日に払込が完了いたしました。

## 1. 発行の目的及び理由

当社は、平成29年5月23日開催の取締役会において、当社の取締役(社外取締役を除く)が、株価変動のメリットとリスクを株主の皆様と共有し、株価上昇及び企業価値向上への貢献意欲を従来以上に高めるため、当社の取締役(社外取締役を除く)に対し、譲渡制限付株式を割り当てる報酬制度を導入することを決議いたしました。また、平成29年6月28日開催の第16期定時株主総会において、本制度に基づき、譲渡制限付株式に関わる報酬等として支給する金銭報酬債権の総額を、年額120百万円以内として設定することにつき、ご承認をいただいております。

## 2. 発行の概要

(1) 払込期日	平成29年7月13日
(2) 発行する株式の種類及び数	当社普通株式17,200株
(3) 発行価額	1株につき1,867円
(4) 発行総額	32,112,400円
(5) 資本組入額	1株につき933.5円
(6) 資本組入額の総額	16,056,200円
(7) 募集又は割当方法	特定譲渡制限付株式を割り当てる方法
(8) 出資の履行方法	金銭報酬債権の現物出資による
(9) 割当対象者及びその人数並びに割当株式数	当社取締役(社外取締役を除く)4名に対して17,200株
(10) 譲渡制限期間	平成29年7月13日から平成49年7月12日
(11) その他	本新株発行については、金融商品取引法による有価証券通知書を提出しております。

## 3. 補足情報

## サービス別売上高

		前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)		前年同期比(%)
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
肝炎関連売上	国内	19,566	5.8	34,920	28.3	178.5
	海外	182,115	53.9	20,435	16.6	11.2
DMPK/Tox関連 ・その他売上	国内	23,687	7.0	28,392	23.0	119.9
	海外	112,247	33.3	39,699	32.1	35.4
合計		337,617	100.0	123,448	100.0	36.6

(注) 当社グループは「PXBマウス事業」の単一セグメントではありますが、事業の傾向を示すためサービス別の売上高を記載しております。